

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

2024 年 11 月 21 日(木)15:30～17:00 懇談会

1. 挨拶

— 吉田 憲司（館長） —

2. ニュースリリース

●みんなくの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 山中 由里子（議長） —

3. みんなく映画会

詳しくはこちら

『ペトルーニャに祝福を』

高学歴を生かせず不遇なペトルーニャは、手にした者に幸運を授ける十字架を偶然手にします。しかし、十字架は本来男性のみが手にできるものとされていました。この映画から東地中海世界の男性優位主義と一神教の関係を解き明かします。



日 時 2024 年 12 月 14 日 (土)
13 時 30 分～16 時 15 分 (12 時 30 分受付・開場)
会 場 みんなくインテリジェントホール (講堂)
司会・解説 菅瀬晶子 (本館 准教授)
定 員 350 名 (要事前申込み／先着順)
参 加 費 要展示観覧券 (イベント参加費は不要)
申込期間 12 月 11 日(水)まで

— 菅瀬 晶子 (超域フィールド科学研究部 准教授) —

4. 能登半島での文化財救援活動の近況報告

[詳しくはこちら](#)

石川県・能登半島で文化財レスキューに携わる日高真吾教授が近況を報告します。

— 日高 真吾 (学術資源研究開発センター 教授) —

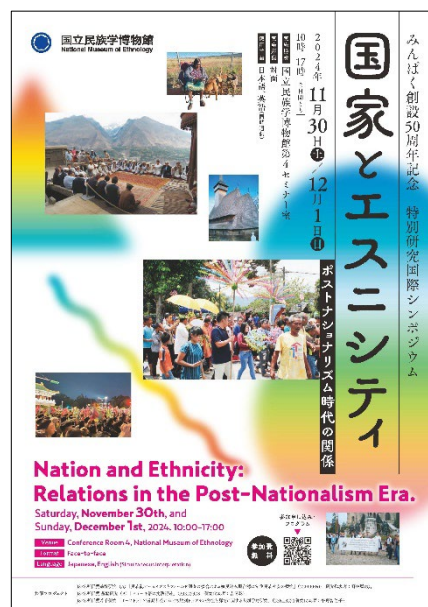
5. みんなく創設 50 周年記念・特別研究国際シンポジウム

「国家とエスニシティ：ポストナショナリズム時代の関係」

[詳しくはこちら](#)

民族の概念は多義的であり、対象を分析し評価するための概念としては扱いが難しいということが認識されてきました。しかしながら、概念の全体を十分に理解し注意することにより、民族は他の表現では代替できない非常に有用な概念となります。本シンポジウムでは、国家や権力主体が民族を単位にした市民・国民への作用に注目し、人々と国家との関係のなかで民族が実体化されている諸相を明らかにします。公式、非公式な関係を通して、民族の存在が人々のなかで意識されていく過程を考えます。

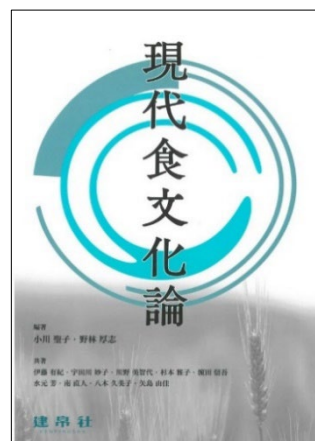
日時 2024 年 11 月 30 日（土）、12 月 1 日（日）10 時～17 時
会場 本館 2 階第 4 セミナー室
言語 日本語・英語（日英同時通訳付き）
主催 国立民族学博物館
定員 60 名（要事前申込み／先着順）
参加費 無料
申込期間 11 月 22 日（金）まで



— 野林 厚志 (学術資源研究開発センター 教授) —

『現代食文化論』

(小川聖子、野林厚志 編／建帛社)



— 野林 厚志 (学術資源研究開発センター 教授) —

『記憶と歴史の人類学』

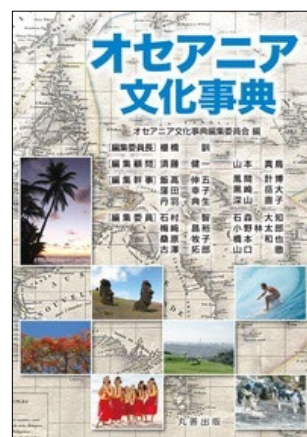
——東南アジア・オセアニア島嶼部における戦争・移住・他者接触の経験——

(風間計博、丹羽典生 編／風響社)



『オセアニア文化事典』

(オセアニア文化事典編集委員会 編／丸善出版)



— 丹羽 典生 (グローバル現象研究部 教授) —

『産後の〈風〉——病いの語りからみる韓国社会とジェンダー』

(諸昭喜 著／春風社)



— 諸 昭喜(グローバル現象研究部 准教授) —

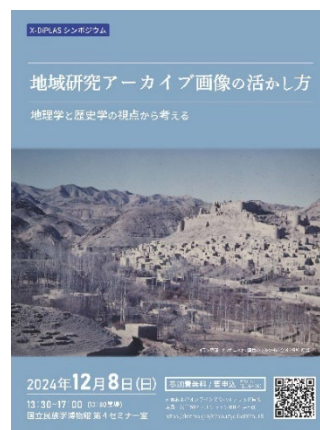
7. 人間文化研究機構プロジェクト関連 X-DiPLAS シンポジウム

「地域研究アーカイブ画像の活かし方——地理学と歴史学の視点から考える」

[詳しくはこちら](#)

X-DiPLAS(学術知デジタルライブラリの構築)の目的は、散逸の危機に直面する地域研究画像資料のデジタル化・データベース化を通じて、画像研究資源のプラットフォームを構築することにあります。このプラットフォームは、画像研究資源を将来世代の研究者に継承するための重要なツールとなりうるでしょう。

- | | |
|-------|--|
| 日 時 | 2024 年 12 月 8 日 (日) 13 時 30 分～17 時 (13 時開場) |
| 会 場 | 本館 2 階第 4 セミナー室 |
| 解 説 | 石山俊 (本館 プロジェクト研究員) |
| 研究発表 | 渡邊三津子 (文教大学 准教授)、原隆一 (大東文化大学 名誉教授)、吉村武典 (大東文化大学 准教授) |
| コメント | 永井正勝 (人間文化研究機構／本館 特任教授)、岩谷洋史 (姫路獨協大学 講師) |
| 主 催 | 人間文化研究機構 共創先導プロジェクト (共創促進研究)「学術知デジタルライブラリの構築」国立民族学博物館拠点 (X-DiPLAS) |
| 定 員 | 対面 50 名、オンライン 100 名 (要事前申込み／先着順) |
| 参 加 費 | 無料 |
| 申込期間 | 12 月 4 日 (水) まで |



— 石山 俊 (グローバル現象研究部 プロジェクト研究員) —

※その他の配布資料 外国人研究員受入一覧 (資料 6)、刊行物報告書 (資料 7)



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

お問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp